

水源の状況と天候の見通し

(2月～4月)

1	東海地方の天候（1月）	1
2	ダム地点の降水量（1月）	1
3	水源の状況と天候の見通し	2
	（1）水源の状況	2
	（2）東海地方の3か月予報（2月～4月）	4

令和7年2月4日



公益財団法人 愛知・豊川用水振興協会

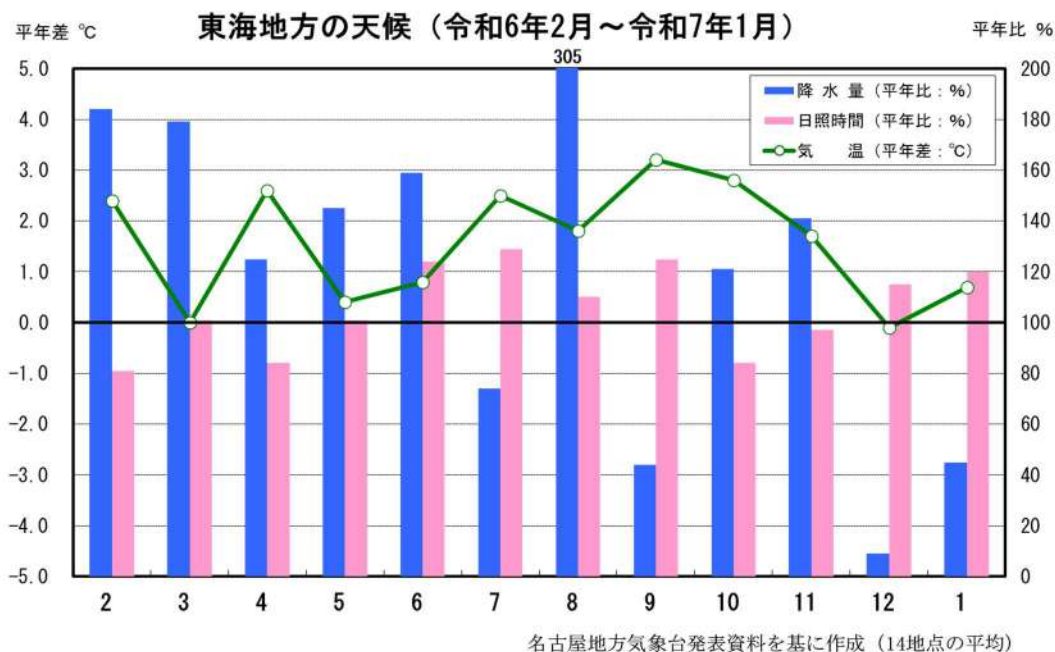
[\(https://www.aitoyo.or.jp/\)](https://www.aitoyo.or.jp/)

1 東海地方の天候(1月)

冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れた日が多くなり、低気圧の影響を受けにくくなりました。このため、月間日照時間はかなり多く、月降水量は少なくなりました。特に月間日照時間は平年比120%となり、1946年の統計開始以降、1月として1位の多照となりました。上旬の終わりから中旬のはじめにかけては寒気の影響を受けましたが、その他は寒気の影響を受けにくかったため、月平均気温は高くなりました。

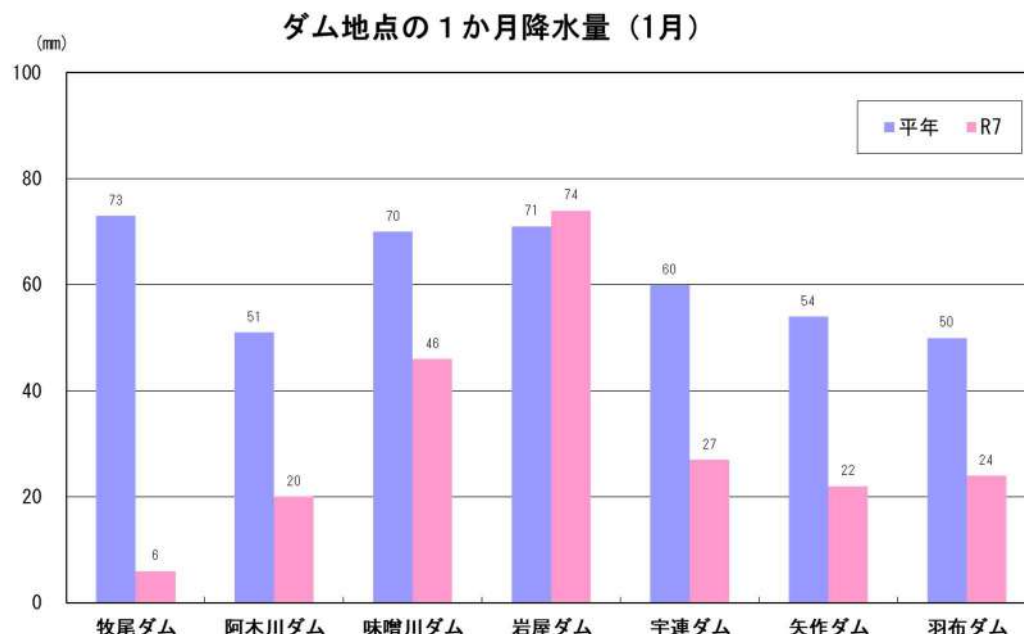
月平均気温は「高い」、月降水量は「少ない」、月間日照時間は「かなり多い」となりました。

(名古屋地方気象台 令和7年2月4日発表資料を基に作成)



2 ダム地点の降水量(1月)

ダム地点の1か月の降水量は、7地点の平均で平年比51%となりました。



3 水源の状況と天候の見通し

(1) 水源の状況

令和7年1月31日現在のダム貯水率は、次表のとおりです。
当協会のホームページにおいて、以下の情報を掲載していますので、ご覧下さい。

「あいとよネット」で検索
(<https://www.aitoyo.or.jp/>)

★ダム貯水量曲線

★水源の状況と天候の見通し(3か月予報) [月1回更新]

木曽川、豊川、矢作川水系のダム貯水率

R7.1.31

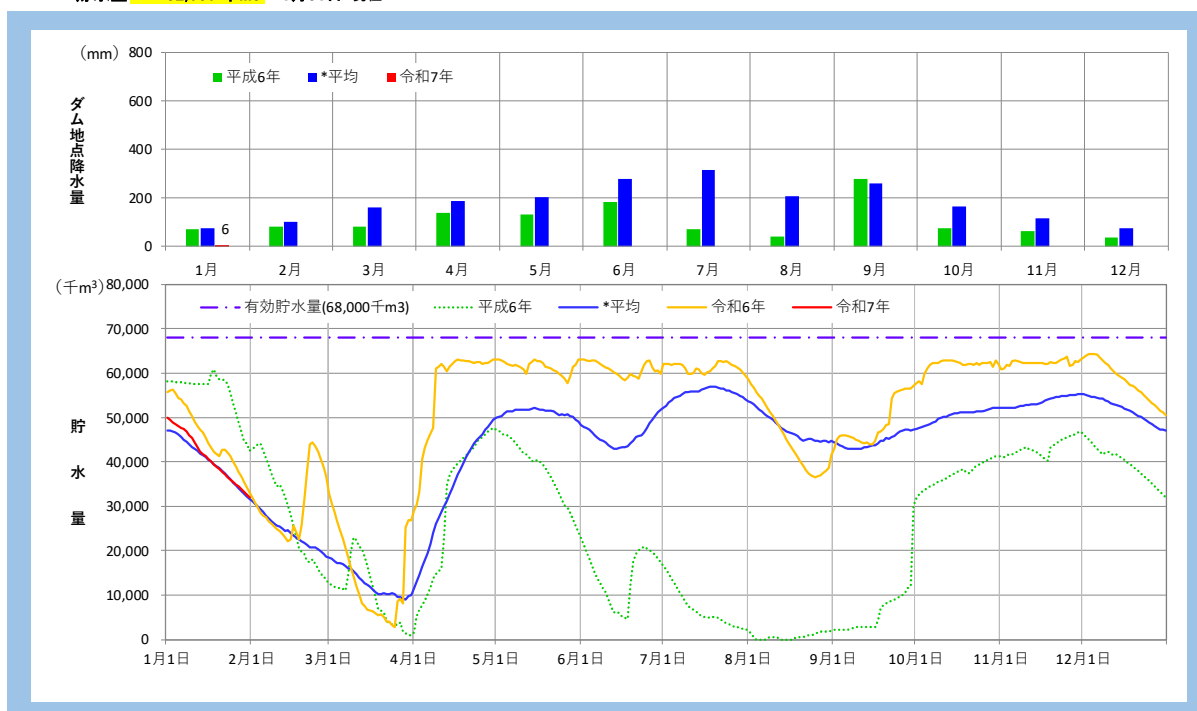
水 源	利水容量 (千m3)	貯 水 量 (千m3)	貯水率 (%)	平年貯水率 (%)	平年との差 (%)
木曽川水系					
牧尾ダム	68,000	32,050	47.1	46.5	+ 0.7
阿木川ダム	22,000	16,818	76.4	81.9	△ 5.5
味噌川ダム	31,000	29,427	94.9	93.2	+ 1.7
岩屋ダム	61,900	60,195	97.2	93.6	+ 3.7
豊川水系					
宇連ダム	28,420	16,153	56.8	53.9	+ 3.0
豊川用水全体	51,820	35,812	69.1	68.9	+ 0.2
矢作川水系					
矢作ダム	65,000	21,300	32.8	42.4	△ 9.7
羽布ダム	18,461	17,112	92.7	70.0	+ 22.7

注) 貯水率は、当日の24時(木曽川・豊川)または9時(矢作川)の値

貯水量曲線は、ホームページ「ダム貯水率」及び、「ダム貯水量曲線」に掲載

牧尾ダムの貯水量曲線

貯水量 **32,050 千m3** 1月31日 現在

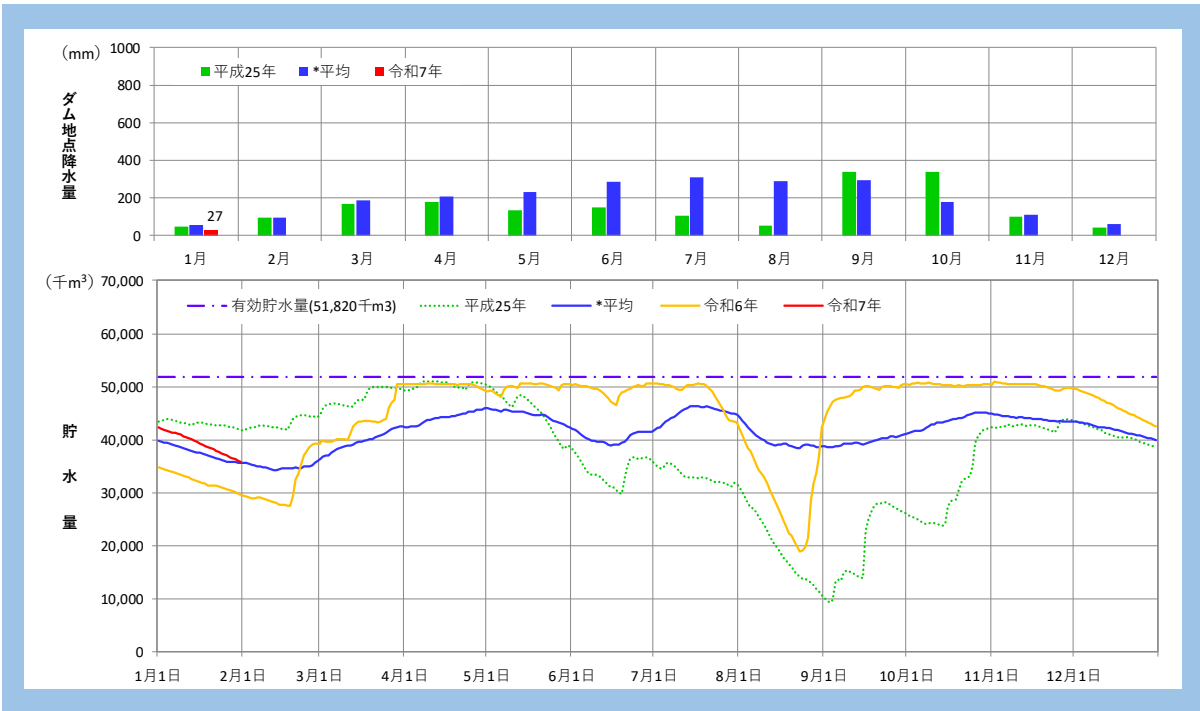


*平均: 昭和37年1月から令和6年12月

(データ提供: 独立行政法人水資源機構愛知用水総合管理所 URL <https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/>)

豊川用水全体の貯水量曲線

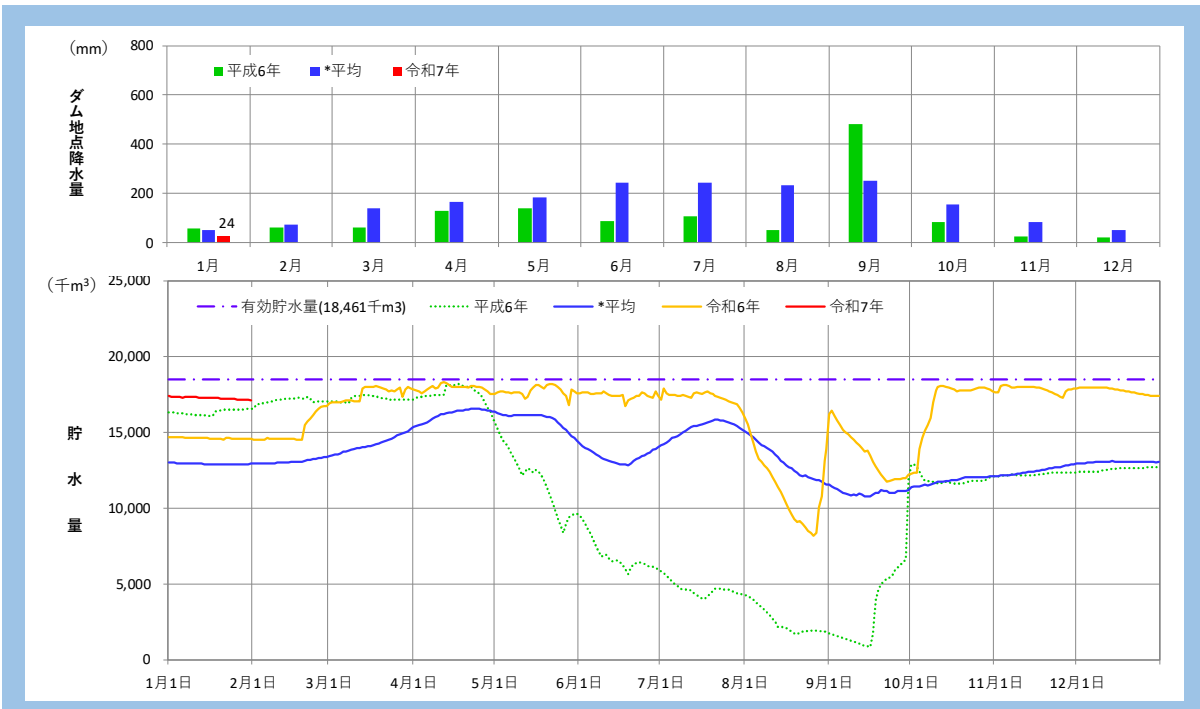
貯水量 **35,812 千m³** 1月31日 現在



*平均:平成14年4月から令和6年12月(雨量は昭和43年4月から令和6年12月)
 (データ提供:独立行政法人水資源機構豊川用水総合事業部URL <https://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/>)

羽布ダムの貯水量曲線

貯水量 **17,112 千m³** 1月31日 現在



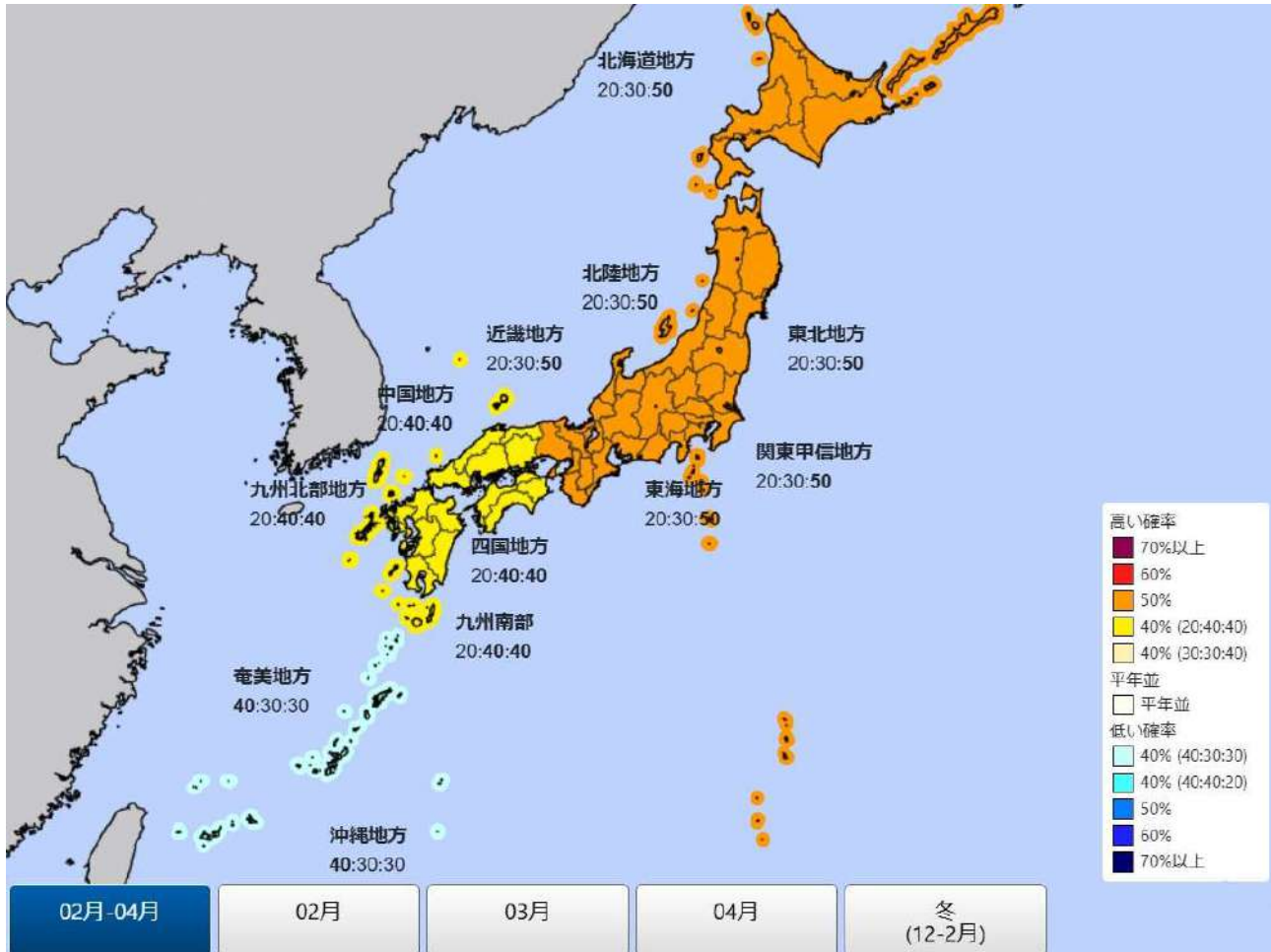
*平均:昭和39年1月から令和6年12月
 (データ提供:愛知県西三河農林水産事務所用水管理課)

(2)東海地方の3か月予報(2月~4月)

(名古屋地方気象台 令和7年1月21日発表資料を基に作成)

① 気温

東海地方の3か月全般(2月~4月)の平均気温は、下図のように、低い確率が20%、平年並が30%、高い確率が50%の予報となっています。

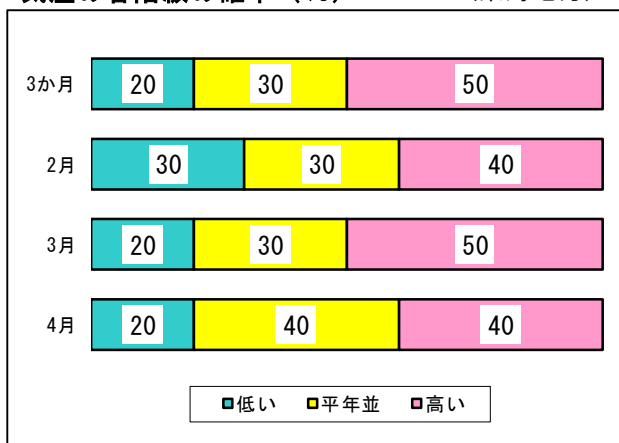


同様に、2月から4月までの月別予報は、下図左のとおりです。

ここでは、気温の各階級の確率に応じて、それぞれの予報を下図右のように±5段階の等級に区分することとします。

この結果、気温は、3か月全般で[+3]、2月は[+1]、3月は[+3]、4月は[+2]となります。

気温の各階級の確率 (%) (東海地方)

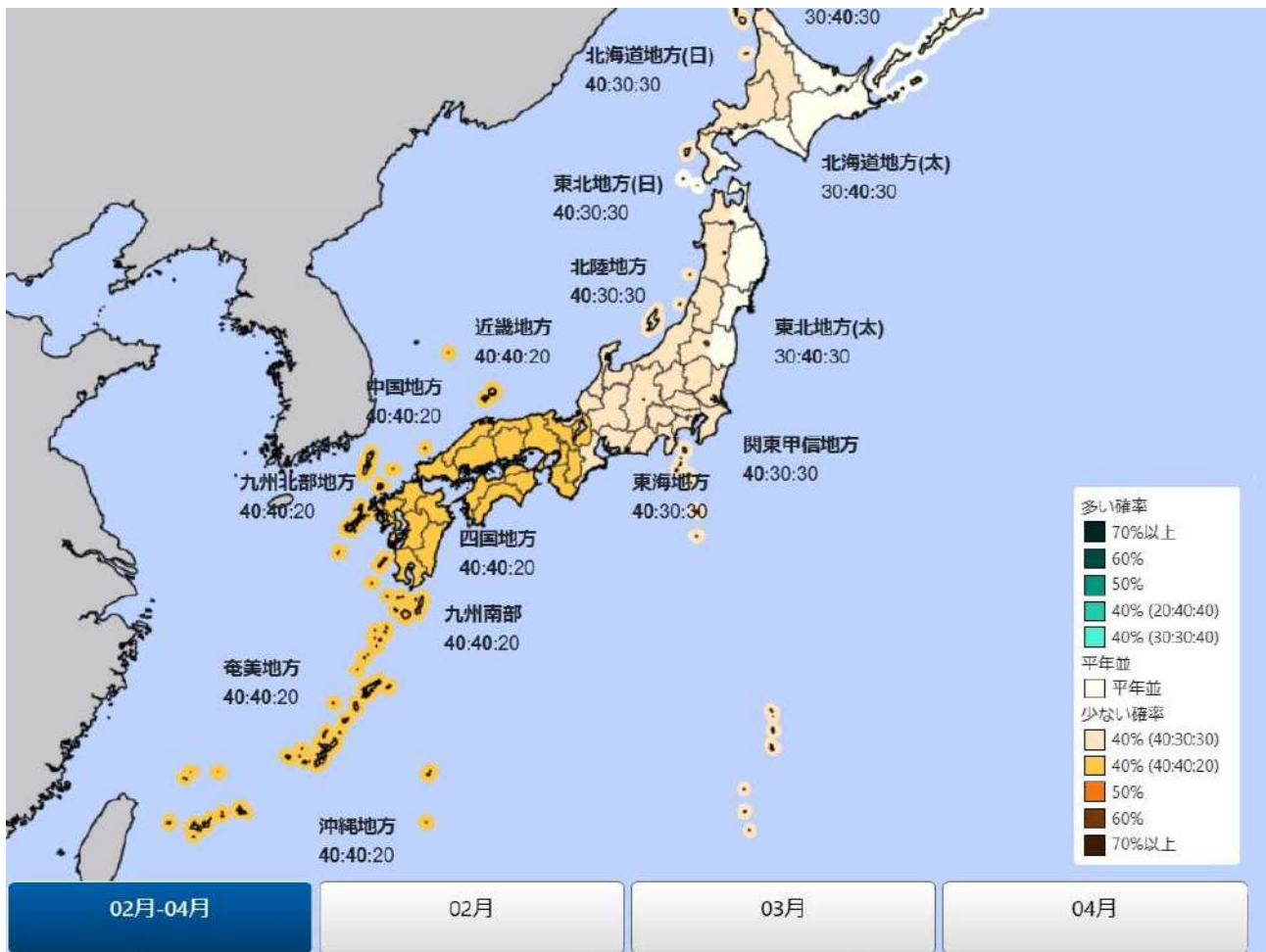


各階級の確率と等級 (東海地方)

気温等級	予報確率	3か月			
		3か月	2月	3月	4月
高い	+5	: :70			
	+4	: :60			
	+3	: :50	●	●	
	+2	20:40:40			●
	+1	30:30:40		●	
平年並	0				
	-1	40:30:30			
	-2	40:40:20			
低い	-3	50: :			
	-4	60: :			
	-5	70: :			

② 降水量

東海地方の3か月全般（2月～4月）の降水量は、下図のように、少ない確率が40%、平年並が30%、多い確率が30%の予報となっています。

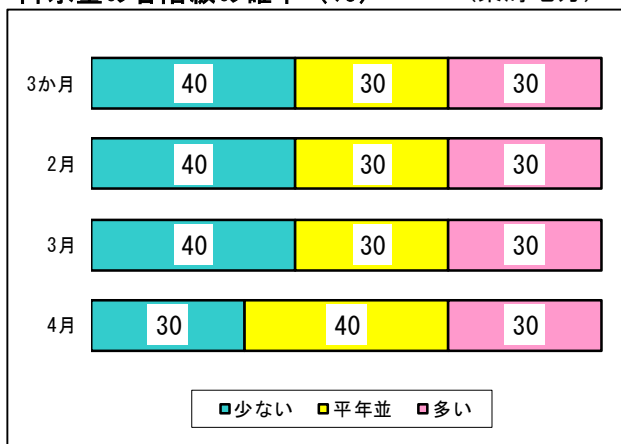


同様に、2月から4月までの月別予報は、下図左のとおりです。

ここでは、降水量の各階級の確率に応じて、それぞれの予報を下図右のように±5段階の等級に区分することとします。

この結果、降水量は、3か月全般で[-1]、2月、3月は[-1]、4月は[0]となります。

降水量の各階級の確率 (%) (東海地方)



各階級の確率と等級 (東海地方)

降水量	等級	予報確率	3か月	2月	3月	4月
多い	+5	: :70				
	+4	: :60				
	+3	: :50				
	+2	20:40:40				
	+1	30:30:40				
平年並	0					●
	-1	40:30:30	●	●	●	
少ない	-2	40:40:20				
	-3	50: :				
	-4	60: :				
	-5	70: :				